



# 学校だより

平成29年11月17日



11月号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

## 感動の秋

校長 大石 礼子

色づいた落ち葉が風に舞う様子を見ると冬が近いことを感じます。また、街の至る所でイルミネーションの美しい輝きが目にとまり早いもので、年の瀬を感じる頃となりました。第一小の子どもたちも季節の移り変わりを感じながら元気に過ごしております。しかし、11月に入り体調を崩し早退、欠席する子どもが増えました。無理をしないで休養して元気に登校してほしいと願っています。また、暗くなるのが早くなり子どもたちの放課後の過ごし方が心配されます。学校でも安全面に注意して行動するよう指導いたしますが、ご家庭におかれましてもお話しくださいますようお願いいたします。

10月31日(火)に文化芸術による子供の育成事業(巡回公演)が、本校体育館において行われました。公演は、劇団たんぽぽによる『グリックの冒険』でしたが、鑑賞するだけでなく子どもたちが実際に出演して劇団員の方たちと一緒に物語を盛り上げました。事前に、練習をして舞台衣装を身に着けた子どもたちは、緊張の中にも目を輝かせ表情豊かに演じていました。身近に芸術に触れるよい機会となりました。また、11月10日(金)3年生が戸塚区公会堂で開催された港南区音楽会に出演してきました。『サウンドオブミュージック』をテーマに歌とリコーダーを発表してくれました。心と歌声を一つにして練習してきた成果を発揮した素晴らしいものでした。子どもたちは、他の学校の発表を真剣なまなざしで聴き、それが終わるたびに、「よかったね。」「リコーダー上手だったね。」など、音楽の様々な表現を楽しむとともに音楽のもつ力も感じているようでした。また、11月9日(木)に延期になっていた1年生の遠足がありました。場所は、根岸台の森林公園です。公園行く前に馬の博物館に立ち寄り、馬を世話する人たちの様子や間近で馬の動きを見学しました。みんな馬たちに興味津々で「どうしてあんなふうに足を動かすのかな?」「足を削ってるよ」「餌をあげたいから、また来たいな」など、様々な感想を伝え合っていました。その後、広い森林公園に行った子どもたちは、思い思いに楽しい時間を過ごしました。芝生の坂を寝転がりながら転がる子、ふかふかの落ち葉の中からドングリを見つける子、池の生き物をじっくり観察して一喜一憂する子、高い木の下で上を見上げると大きくダイナミックに揺れる枝や葉の動きに圧倒されている子、たくさんの落ち葉を両手で抱えて高く舞い散る様子に大喜びする子、どの子も遊びに没頭して秋のひと時を楽しむことができた様子でした。

こうした子どもたちの姿を見て、子どもたちの“心の目”は、たくさんのもを見つけているのではないかと思います。大きな感動や驚きなど自分だけの“心の目”で、言葉では表現できないけれど何か捉えきれないものを見つけ出しているように思います。子どもたちのつぶやき、感想、姿に触れるたびに、金子みすゞさんの詩「星とたんぽぽ」の一文を思い浮かべます。

**昼のお星は目に見えぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。(一部抜粋)**

感動の体験を積み重ねて“心の目”がもっともっと大きく育つよう、見守り支援していかなければという思いを強く抱きます。